



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第26号 令和7年5月20日

ゴールデンウィークが終わり、学校運営や学級経営も軌道に乗ってきたところでしょうか。
これからの教材研究や校内研究、校内研修に教育ライブラリーの資料をお役立てください。
教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。
教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。
基本的に土曜日でも利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

「令和7年度教科書検定結果公開事業」のご案内

平成3年度から始まった「教科書検定結果公開事業」が、今年度、香川県教育センター 教育ライブラリーを会場に開催されます。香川県では前回の平成28年度以来、9年ぶりの開催です。

「教科書検定結果公開事業」とは？

国民の教科書に対する関心に応え、教科書への信頼を確保するとともに、教科書検定へのより一層の理解を得るため、文部科学省が全国7会場で検定に係る申請図書等検定関係資料を公開するものです。教科書の閲覧だけでなく、教科書検定に関わる意見書や議事などの資料が合わせて公開されます。

公開日時

令和7年7月8日（火）～7月15日（火） [13日（日）は除く]
9時30分～17時 [12日（土）は16時、15日（火）は15時まで]

公開場所

香川県教育センター 2階 教育ライブラリー
高松市郷東町587-1 TEL 087-813-0934

公開資料

令和6年度に実施した中学校及び高等学校（主として低学年）用の教科書検定に関する資料（申請図書、調査意見書、判定案、検定意見書、修正表、見本、議事要旨及び検定基準等）

書籍紹介

① 「『指示』をやめれば、先生はうまくいく」

内藤睦夫/著

（明治図書 2024年発行）

先生が「指示をやめる」・・・印象に残るフレーズです。指示をやめて本当に授業ができるのだろうか？ 指示をやめて本当に学級経営は成り立つのだろうか？ 様々な疑問が湧いてきます。

でも、この本は、「指示をやめましょう」というのではなく、指示をしたくなる自分を手放して教師が楽になることを提案する本です。「子どもは指示によってコントロールできない存在である」ことを教師が腹に据えたとき、子どもとのコミュニケーションの仕方がどう変わるのかがよく分かります。そして、そのようなコミュニケーションが、「主体的・対話的」な子どもを育てることにつながるというのですから、現行の学習指導要領の趣旨にも沿っています。

「子どもをコントロールしたくなる原因」「子どもをコントロールしようとやりがちなこと」の章で述べられた対応には、教員を経験した多くの人が思い当たり、指示をしてきた自分に改めて気付かされます。また、「指示をしないための選択肢」として挙げられた「観察」から始まる9つの対応は必見です。「場面でわかる指示しない技術」の章には、なかなか席に着かない子どもがいる、後ろを向いておしゃべりを始めた子どもがいる・・・など、学校生活の様々な場面での指示しない対応が具体的に述べられています。

小中学校教員やスクールカウンセラーの経験に加えて、コーチングを学んだ著者ならではの子どもの思いや課題に寄り添った支援の考え方に触れることができます。学級経営の土台を作る年度始めだからこそお勧めする一冊です。

②「ごく普通の公立小学校が、校内研究の常識を変えてみた」

葛原順也・花岡隼佑/著
(明治図書 2024 年発行)

研修や研究が必要とは知りながら、今は目の前の仕事を片付けたい。多忙な教員ゆえの率直な感想です。気持ちを取り直して研修に臨み、せっかくだから集中して聞かねばと思いつつも、日ごろの疲れがどっと押し寄せて遠のいていく意識。まさに研修・研究あるあるです。このような校内研修・研究から脱却して、先生方がより積極的に学ぶ場にできないものかという命題に、埼玉県の「ごく普通の公立小学校」が取り組んだ経過が本書です。どうせやるならそれぞれの先生方が一番知りたい内容で取り組んだほうがモチベーションが上がる。子どもに「主体的・対話的で深い学び」と言うなら、先生方にも必要なのは。こうして行き着いたのがグループ研修でした。それぞれの先生方が、自分の興味関心に沿ってグループごとに研修・研究を重ねながら、最終的には学校の研究テーマに沿って研究成果を集約していったのはなかなか見事です。そして何よりも、研究をしている先生方がそれを楽しんでいる様子がすばらしい。グループ研修導入に当たったの細かなノウハウも参考になります。こんな研修・研究ならいいと思わせてくれる1冊です。これからの校内研修・研究の参考にしてみても良いでしょう。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	5月号	【連載】真似したくなる指導案 ◇授業のエキスパートが、指導案を書くときに考えていること ◇真似したくなる指導案づくり 項目別の書き方・磨き方 ◇真似したくなる指導案モデル 【連載】◇学びが見える！今月の国語板書録 ◇言葉による見方・考え方を働かせる学習課題 小学校・中学校各学年 ◇日本語学が拓く国語科教材分析 教師の言葉 ◇生成 AI vs.作文教育 文章の種類に応じて生成 AI で書かせてみる
社会科教育 (明治図書)	5月号	【連載】明日の授業が変わる！「発問」の技術とデザイン ◇学びの難しい学習課題を社会科授業でどうデザインするのか ◇素材研究から考える教材研究と発問づくり ◇見方・考え方を働かせる発問づくりのポイント ◇子どもを迷わせない発問のルール ◇思考を活性化させる！「ゆさぶり発問」「ジレンマ発問」づくり

		◇特定の子だけが答えない！「逆転現象」の起きる発問づくり ◇有田和正先生直伝！「追究の鬼」を育てる発問づくり ◇子どもが考えたくなる！「発問」の立て方 私のおすすめキー発問 ◇ICT 活用時代に問う！「これから」の発問づくり ◇発問づくり上達法 「問いを立てる力」はこのように鍛えよう
数学教育 (明治図書)	5月号	【連載】永久保存版 生徒の疑問、つまり100の対処法 「負の数をかけるってどういうこと？」「どうして1xとは書かないの？」 「ねじれの位置と平行はどう違うの？」「関数って何？」 「そもそも、わかりきっていることをなぜ証明するの？」 「平均値と中央値、最頻値のどれを使えばいいの？」 「『同様に確からしい』ってどういうこと？」等 【連載】◇テストづくりの技術を磨く 論理的に考察する力を見取る
理科の教育 (東洋館出版社)	5月号	【特集】ウェルビーイングと理科教育 ◇理科教育におけるウェルビーイングとは何か ◇あなたが考えるウェルビーイングと理科授業（小学校、中学校、高校） 【連載】◇教材研究一直線 魅力的な鉱物の実験② ◇生徒をひきつける観察・実験 大気圧を体感する逆さコップの実験 ◇形状記憶合金ばねを用いた結晶格子学習 高等学校化学基礎での実践例 ◇先生はサイエンスマジシャン 自販機はなぜ硬貨を識別できるのか
英語教育 (大修館書店)	5月号	【特集1】紙とデジタル 学びの姿はどう変わるか ◇認知科学の知見から 英語教育で紙とデジタルをどう使い分けるか ◇紙とデジタルの利点を活かして 最適な学び方を選択できる環境づくり ◇紙辞書と電子辞書の効果的な使い分け ◇医学的な観点から見る デジタル教育の再考 ◇「デジタル教科書推進ワーキンググループ中間まとめ」概要 【特集2】大学入試英語の現在 ◇最新の難関大学入試問題と合格に求められる英語力 ◇2025年大学入学共通テスト「英語(リーディング)」問題講評と読解指導 ◇教科書だけで大学入学共通テスト 英語リーディングは突破できるのか ◇「対策不要」が最強の対策 入試問題の変遷に振り回されないために 【特別記事】小中連携を意識した中学校での小学校教科書の扱い方 【連載】◇今月の時事英語
道徳教育 (明治図書)	5月号	【特集】考え、議論せずにはいられない最強中心発問 ◇あらためて押さえない「考え、議論する道徳」に変える発問のポイント ◇いまさら聞けない 発問の種類&機能と最強中心発問の作り方 ◇考え、議論せずにはいられない最強中心発問 事例（小・中学校） 【連載】◇道徳教育 2030 道徳的価値を教えない道徳科授業 ◇新・道徳授業論 「自分さがし」を後押しする「自分軸」を育てる ◇くらべてたのしむ道徳授業（今月の教材：ないた赤おに） ◇中学校道徳授業がもっとうまくなりたい先生のためのワークショップ
授業力&学級経営 力 (明治図書)	5月号	【連載】永久保存版 5分でできる学級&学習あそび100 学級開き、生活習慣・ルール、ペア活動、グループ活動、コミュニケーション、リスタート、ボールあそび、鬼あそび、リレーあそび、

		表現・リズムあそび、器械・器具あそび、なわとびあそび、授業の導入・すきま時間、学び方、頭の体操、教科あそび 【連載】◇「働き方改革」のマインドセット&実践事例 ◇子ども・保護者と信頼でつながる12か月の学級通信ネタ ◇ChatGPTで変える教師の仕事 生成AIで実現するメール時短テクニック ◇Q&Aで学ぶ学校著作権 授業のためのコピーにも限度があります
生徒指導 (学事出版)	5月号	【特集】「5月」の生徒の変化を見逃さない ◇学校の1年における「5月」とは？ ◇人間関係のトラブルと学級の心理的安定 ◇連休明けの不登校を防ぐ ◇小学校における安全・安心な学年・学級経営のための取組 ◇5月の生徒のころを考えると遅刻に表現されたところとからだの揺れ 【インタビュー】「ケア」の視点から考える「支援」という言葉のかたち 【特別企画】SNSの疑似体験で子どもたちの情報モラルを育てる実践 Google クラスルームを活用して 【連載】◇いじめを重大事態化させないために特別活動が果たす役割 ◇今だから質問しよう 日本の学校の常識 塾は何のためにあるのか？ ◇不登校の「その後」を考える 不登校と家庭環境 中学生と高校生で ◇生徒指導事案リーガルナレッジ 不登校に関する保護者とのやり取り ◇SCの定着をめざして 「居場所」を失う子どもたちに何ができるか
生徒指導 (学事出版)	増刊号	【特集】生徒指導の“ほうれんそう”の仕方 ◇“ほうれんそう”の欠如で保護者とトラブルに 引き継ぎも“ほうれんそう”の一つ “ほうれんそう”の欠如が三位一体のドロドロを招く 他 ◇“ほうれんそう”の悪い例 ◇“ほうれんそう”の初期情報から最終情報へ ◇よい“ほうれんそう”のポイント ◇保護者対応と“ほうれんそう” ◇管理職や教務主任・生徒指導部長・学年主任の“ほうれんそう”対応
教職研修 (教育開発研究所)	5月号	【特集1】[逐条解説] 2027学習指導要領「諮問」① ー諮問の背景と方向性を読み解く ◇[総論] 学習指導要領諮問文の方向性と学校現場への期待 ◇[逐条解説] ①授業改善に直結した学習指導要領／目標・内容の構造化 ②ユーザビリティ、アクセシビリティの向上 ③理念の関係性の整理 ④デジタル学習基盤を前提とした各教科等の示し方 ⑤学習評価の改善 ⑥新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性 ⑦標準授業時数等の弾力化 ⑧高校の柔軟な教育課程 ⑨多様な子どもを包摂するシステムの構築 ⑩情報活用能力の向上 ⑪総合・探究の改善・充実 【特集2】7時間寝るための働き方改革 ー「睡眠不足で当たり前」からの脱却 ◇睡眠不足がもたらす危険と対策 ◇余裕を生む仕組みづくり ◇まず、自由に使える時間を増やすために ◇知りたい！睡眠の技術 ◇教師に必要な休みマネジメント◇管理職、24時間働けますか？

初等教育資料 (東洋館出版社)	5月号	【特集1】各教科等の目標の実現に向かう学習の過程を大切にした授業② 【特集2】道徳科における多様な教材を活用した創意工夫ある指導 【連載】◇「学びをつなぐこと」と「学びを支えること」を意識した幼稚園・地域との連携を目指して ◇プロジェクトH 新たな学びのステージへ クラウド環境を活用した学びの「見通し」を示す授業デザイン ◇今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 最終報告（令和6年10月）
中等教育資料 (学事出版)	5月号	【特集】学びの多様化学校 ◇学びの多様化学校の設置促進を中心とした誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について ◇「安心して生活できる環境」である「学びの多様化学校」の使命と課題 ◇「みんなが主役の学校」へ くす若草小中学校の歩み ◇ありのままの自分で学ぶ 一人一人に学びを届ける ◇変化値を高める学校 星槎の挑戦と学びの多様化 【連載】◇各教科等の改善／充実（中学校・高校各教科等） ◇病気療養児に対するオンデマンド型授業配信による学びの充実
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	5月号	【特集】走りながら考える！アセスメント・指導・評価同時進行のススメ ◇支援のためのアセスメント ◇知的障害のある児童生徒の適応行動を支援するアプリケーションマトリクス ◇図画工作の授業で子どもの発達を捉える！授業で使えるアートワークも紹介 ◇子どもの実態と学習指導要領をつなぐ「指導内容確認表」を用いた授業づくり 【連載】◇知的障害特別支援学校高等部における理科の授業&教材 ◇習うより遊べ！楽しく学べる教材いろいろ♪「九九ダジャレカード」他 ◇こどもを理論的に捉える みたてラボ ワーキングメモリと実行機能 ◇就学相談のプロセスと合意形成 障害種別と程度に基づく学びの場と期待される指導 ◇特別支援学校の防災防犯 福祉避難所開設訓練で見たもの
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	5月号	【特集】教科書を効果的に活用するには？ ☆本・附則9条本から検定済教科書まで ◇知的障害のある児童生徒の教育課程における教科書の活用の状況と課題 ◇特別支援教育と教科書 ◇楽しみながら言葉を促す国語科の指導 ◇小学校「検定済教科書」を活用した授業実践 ◇小学校知的障害特別支援学級における一般図書を活用した授業実践 ◇一般図書を題材とした国語科の授業実践 ◇教科書と多様な教材の効果的な活用を支える学校図書館 ◇「教科書」に込められた願い 【連載】◇教材・教具の定番レシピ 文字や数に至る基礎的な学習 ◇これで解決！所見、評価の書き方 所見・評価の留意点 ◇子どもたちが安心して学び合う授業 学校コンサルテーションの現場から ◇年度当初の「作業学習」 単元「担当の仕事に慣れよう」はアリ？ ◇給食時間は学びの宝庫 給食時間の自立活動を再考する

特別支援教育 (東洋館出版社)	春号	【特集】資質・能力を育成するための授業づくり 各教科等の「見方・考え方」を働かせる 【連載】◇子供をささえるネットワーク 吃音のある中高生への支援 ◇実践！ICT活用 盲学校におけるオンラインを活用した合同授業の取組 ◇障害のある外国人児童生徒等の学びの充実に向けた事例研究 ◇文部科学省委託事業「学校における医療的ケア実施体制充実事業」報告 ◇特別支援学校のセンター的機能の充実と地域コーディネーターの配置 ◇横浜らしいインクルーシブ教育の実現に向けた取組 一般学級で全ての児童生徒が安心して学び続けられる新たな学びのモデル的实践
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	4月号	【特集】学校図書館の仕事 まず一步、踏み出そう！ デジタルもアナログも効率よく使って ◇学校のデジタル環境をチェックしよう ◇選書はどのように行ったらよいか ◇使える、役立つ選書ツール ◇どうする、電子書籍 ◇図書以外のメディアの活用のために ◇興味・関心を刺激する“問いかけ”の広報 ◇探究的な学習への支援 【連載】◇学校図書館あるある～♪ ◇「情報資源を活用する学びの指導大系表」活用に向けて 子どもたちが“本気になる学び”をつくる ◇〈あらまし読み〉体験をしよう 大学初年次教育で明らかになった〈あらまし読み〉の効果
高校教育 (学事出版)	5月号	【特集】次期指導要領、改訂論議がスタート！ ◇次期学習指導要領に向けた検討の背景と論点 ◇教員も生徒も「やってみたい」と思える学習指導要領に ◇次期学習指導要領の改訂動向と現行学習指導要領の定着・発展 ◇現行学習指導要領が求める国語科の授業と次期改訂へ ◇思考する地歴・公民科への転換 「生徒を主語にした」授業づくり 【特集】◇2040年、教育の旅 どうなる高校部活動 ◇シン・高校教育論 高校授業料無償化をどう捉えるべきか ◇学校への愛着の集大成を表現しよう 卒業アルバムを生徒が作る ◇情報教育の現在地 総括 共通テスト「情報」 ◇「探究」を探究する 「やらされ探究」から「本気の探究」へ
道徳と特別活動 (文溪堂)	4月号	【道徳・特別活動教科調査官対談】これからの社会を生きる子供たちを育てるために、道徳と特別活動が担うこと 【特集】Q&A ブック 教室経営から最初の授業づくりまで ◇新年度に向けての心構えと準備 ◇新年度準備を充実させることで、一年間の指導はどのように変わるのか ◇「学級経営の充実」を支える特別活動 個を大切にしたい集団づくり 【連載】◇道徳科の特性を生かした学習指導について ◇特別活動の基礎・基本に関わる Q&A 【基礎講座】◇学級目標の具現化を図る ◇「こうでなければならない」が強すぎないか？ ◇「出会い」と「学級目標」 ◇自己の生き方について考えを深める授業づくりー明確な指導観に基づく授業構想ー ◇低学年における学級活動(1)の取組 ーなかよしバスケットー

学校事務 (学事出版) 5月号	【特集】カリキュラム・マネジメントで学びを支える事務職員 ◇学習指導要領の理念を実現するカリキュラム・マネジメント/田村知子 ◇事務職員としてカリキュラム・マネジメントにどのように関われるのか ◇高等学校におけるカリキュラム・マネジメントと学校事務 ◇事務職員の立場から「教育課程の充実」を考える 【インタビュー】「体感時間」を知れば仕事も人生も豊かにできる！ 【連載】◇子どもの権利が満たされる学校へ どう考える？PTA ◇学校事務 ICT 時短術 封筒宛名等印刷システム ◇学校事務でつくる地域とともにある学校 今、不登校について考える ◇備品整理と予算執行における事務職員の情報発信 気づきをカタチに ◇気になる教育トピック 学校運営協議会と地域学校協働活動
-----------------------------------	---